

# 第1回 岐阜県高校教育改革推進会議 次第

日時 令和8年9月24日（木）10時～

場所 岐阜県庁20階 2003・2004会議室

1 開会・あいさつ

2 委員紹介

3 座長・副座長の選任

4 議事

岐阜県高校教育改革実行計画の骨子案について

(1) 全体概要と論点

(2) 論点1：岐阜県高校教育改革実行計画の位置付け

(3) 論点2：岐阜県の現状と課題

(4) 論点3：岐阜県の目指す高校教育の姿と理念

(5) 論点4：改革実現に向けた4つの柱と検討すべきこと

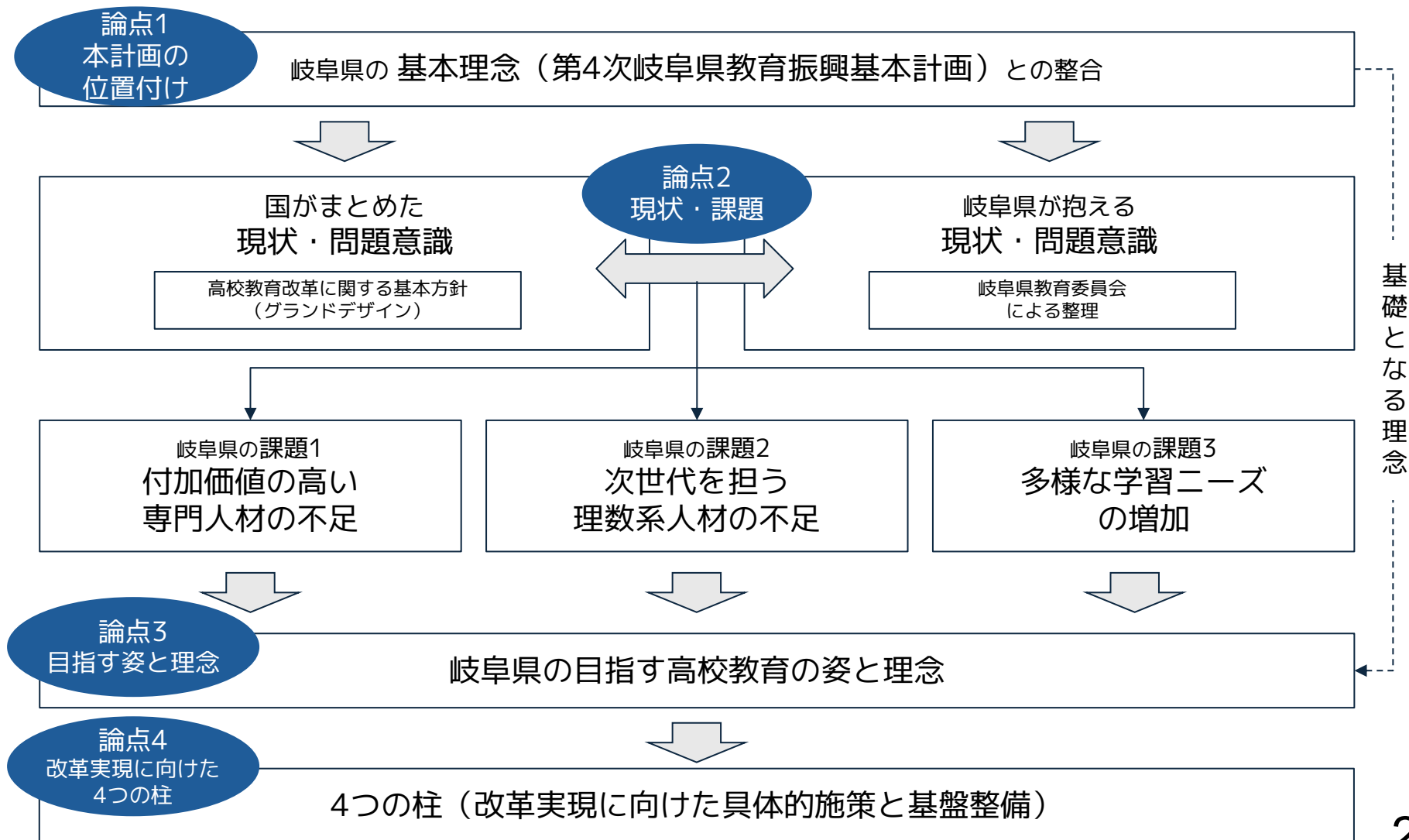
5 閉会

## 2 | 委員紹介 岐阜県高校教育改革推進会議 委員名簿

|    | 氏名     | 主な職名                                   | 備考 |
|----|--------|----------------------------------------|----|
| 1  | 芥川 祐征  | 岐阜大学大学院教育学研究科 准教授                      |    |
| 2  | 奥村 佳子  | 岐阜県商工会女性部連合会 会長<br>(ママ・ベビーサポートおくむら 代表) |    |
| 3  | 加納 博明  | 学校法人西濃学園 学園長                           |    |
| 4  | 川崎 保典  | イビデン株式会社 経営企画本部 副本部長                   |    |
| 5  | 川島 政樹  | 岐阜県産業教育振興会 常任理事<br>(カワボウ株式会社 代表取締役社長)  |    |
| 6  | 篠田 花子  | 一般社団法人ヒトノネ 代表理事                        |    |
| 7  | 中川 敬三  | 岐阜県高等学校長協会 会長                          |    |
| 8  | 益子 典文  | 岐阜大学副学長                                |    |
| 9  | 水川 和彦  | 岐阜県都市教育長会 会長                           |    |
| 10 | 村瀬 尚子  | 株式会社ソフィア総合研究所 代表取締役社長                  |    |
| 11 | 山内 敏之  | 岐阜県教育政策顧問                              |    |
| 12 | 山田 健太郎 | 岐阜県高等学校PTA連合会 会長                       |    |

# 4(1) | 全体概要と論点

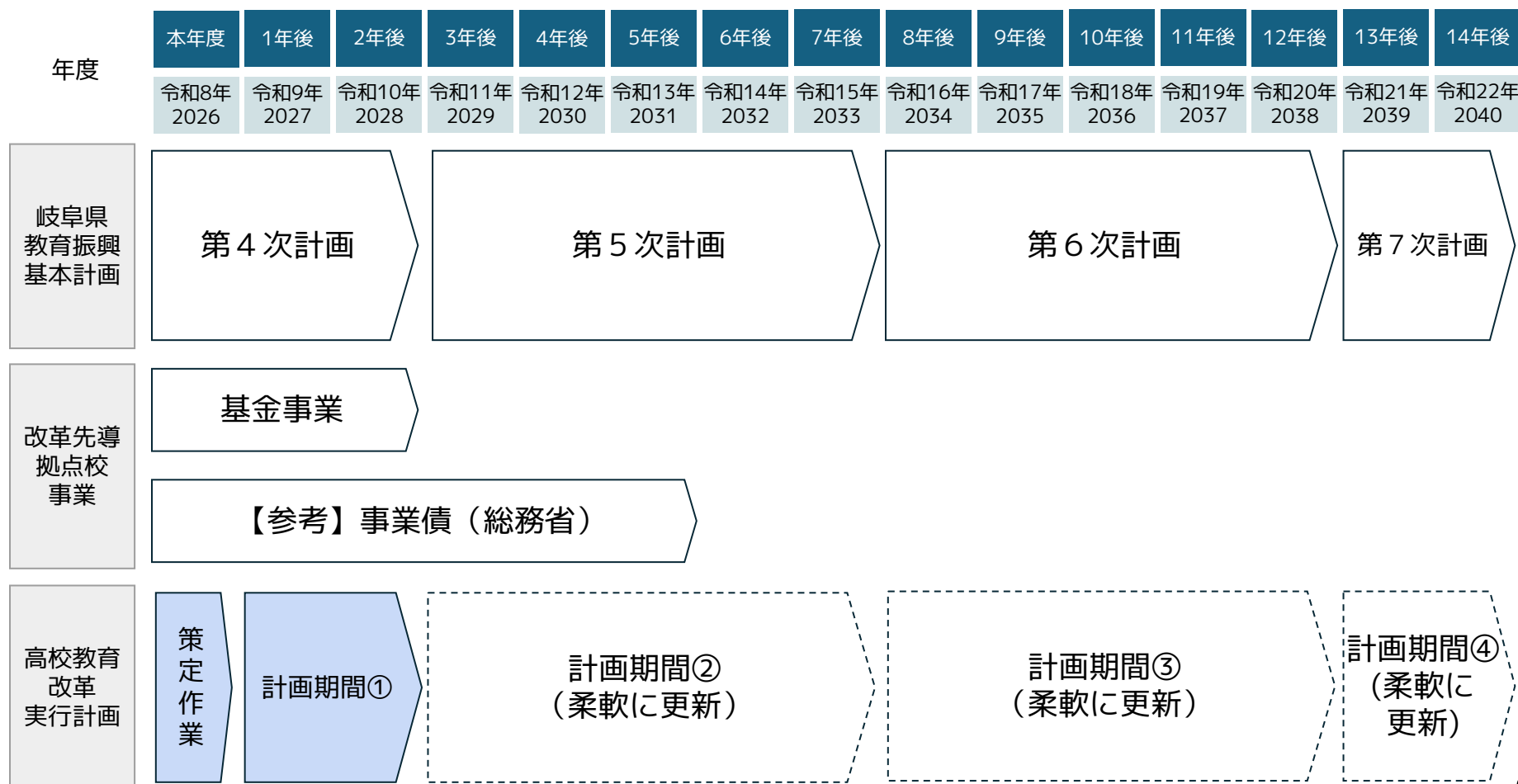
本日は4つの論点について、ご意見・議論いただきたい



# 4(2) | 岐阜県高校教育改革実行計画の位置付け

実行計画の計画期間は、令和9年度から令和10年度を想定。他計画との関係性、社会情勢の変化により、柔軟に更新する

## 岐阜県教育振興基本計画との関係性



## 4(3) | 岐阜県の現状と課題

少子化・人口減少・産業構造の変化など、岐阜県が直面する課題は国が示す課題認識と概ね一致しており、本県においても2040年を見据えた高校教育改革が必要である

### グランドデザイン（国）

- 産業構造や社会システムの変化、AIをはじめとするデジタル技術の急速な発展
  - ・2040年には**少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方過疎化**が一層深刻化
  - ・労働力の需給ギャップ（**事務職は余剰・理系人材が不足**）が発生

### 岐阜県の現状・課題

- 少子高齢化**
  - ・2024年出生数は1973年比の約3割弱まで減少
- 生産年齢人口**
  - ・2020年度：1,134千人から  
2040年度：818千人（▲28%）まで減少
- 地方過疎化（2005年→2020年対比）**
  - ・過疎地域：▲10.5%  
過疎地域以外：▲5.6%
- 労働力の需給ギャップ**
  - ・専門職や工業高校卒、高専卒、大卒・院卒理系で不足する可能性
  - ・AI・ロボット利活用人材はほぼ全ての産業で不足する見込み

2040年を見据えた  
社会変化と課題

○少子化・人口減少・産業構造の変化、AI技術の進展などにより、将来予測が一層困難な社会となる

○このような社会を生き抜くため、多様な個性や能力を生かして、“**自ら問いを立てる力**”や“**他者とともに新たな価値を創り出す力**”が求められる

# 4 (3) | 岐阜県の現状と課題

国が示す課題認識と改革の方向性は、岐阜県の課題認識や今後取り組むべき方向性と一致している

## 改革の方向性

## グランドデザイン（国）

## 岐阜県の現状・課題 (第4次岐阜県教育振興基本計画)

### 視点1

- AIに代替されない能力や個性の伸長
  - ・ 新たな“知”を生み出すためには、確かな学力、AIに代替されない能力、AIを活用した新たな価値を生み出す素地の育成が必要
  - ・ 探究的・実践的な学びへの転換が必要不可欠

- 探究的な学習の充実やICT活用による資質・能力育成、ものづくりへの関心醸成等を掲げ、取り組んでいる
- AI時代を生き抜く能力を育むため、**探究的・実践的な学びの一層の充実が必要**

### 視点2

- 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成
  - ・ 2040年には文系人材の余剰、理系人材の不足、エッセンシャルワーカーの不足が懸念
  - ・ AI・デジタルを駆使した産業イノベーション人材育成が必要

- 普通科における理系選択率は約40%
- 職業学科を選択する生徒は約35%
- 地域連携によるキャリア教育や高い専門性を育む産業教育をベースに、**理数系分野や地域産業を支える人材の育成を一層推進することが必要**

### 視点3

- 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保
  - ・ 少子化が加速する地域の教育維持や学びのアクセス確保が必要
  - ・ 不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒等への柔軟で質の高い学びの選択肢の保障が必要

- 地域によって高校配置や産業構造、人口減少が異なり、学びの機会の格差が生じている
- 不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、**多様な学習ニーズに対応する柔軟で質の高い学びの機会を確保することが必要**

## 4(4) | 岐阜県の目指す高校教育の姿と理念

岐阜県の現状と課題をもとに、岐阜県の目指す高校教育の姿と理念を定めた

| <b>課題1</b><br><b>付加価値の高い</b><br><b>専門人材の不足</b>                                                                                                                                                                      | <b>課題2</b><br><b>次世代を担う</b><br><b>理数系人材の不足</b>                                                                                                                                                                                  | <b>課題3</b><br><b>多様な学習ニーズ</b><br><b>の増加</b>                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県は第2次産業(製造業)を基盤とし、県内総生産額の約35%を占める</li> <li>高校卒業生の都市圏流出や、地域企業が求める人材とのミスマッチなどもあり、地域産業を支える人材の不足が課題</li> <li>○企業等と連携した実践的な学びを通じて、社会や企業が求める専門性や課題解決力を備えた人材を育成することが必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学をゴールにした進路選択では、文系を選択しやすい傾向がある。理系選択の先にある将来展望の魅力付けができていないこと、自分自身の達成可能性を実感できるカリキュラムとなっていないことが課題</li> <li>○理数系分野で活躍するロールモデルとの出会いや、構想から実装までを経験できる学びにより“自分にもできる”と実感できる状態を作ることが必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校生徒数は増加傾向で、通信制・定時制高校へのニーズが高まる一方、多くが広域通信制へ進学しており、公立高校が十分な選択肢になっていない。また、学ぶ意欲があるものの、自信を持てず学びに踏み出せない生徒への支援が課題</li> <li>○安心して学び始めることができる環境づくりと、学校内外のサポートにより、一人一人の状況に応じて学び続けることができる仕組みを構築することが必要</li> </ul> |

グランドデザイン（国）で示された課題と  
岐阜県の現状・課題は概ね一致する



「岐阜県の目指す高校教育の姿と理念」を設定

## 4(4) | 岐阜県の目指す高校教育の姿と理念

目指す姿と理念についてご議論いただき、実行計画案の作成につなげたい

問い



岐阜県の目指す高校教育の姿と理念

### 論点1

#### 本計画の位置付け

実行計画の  
位置付けは何か

- 本計画は「第4次岐阜県教育振興基本計画」を上位計画とし、その理念を踏まえ、国が示すグランドデザインに基づく本県の高校教育改革の具体的施策を示すもの
- 国の財政支援等を活用しながら、計画に位置付ける施策を段階的に推進する
- 計画期間は令和9年度から令和10年度までの2年間とする（計画期間①）

### 論点2 課題設定

何が課題か、  
何と向き合う必要  
があるか

- 今後も長期的に人口減少が続き、社会を支える現役世代や子どもの減少が見込まれる
- 全国有数の面積を有する本県は、地域によって自然環境や産業の様子、生活を営む人々の数も異なる
- 将来が予測困難な時代に突入している。AIなどデジタル技術の絶え間ない発展が、産業構造や社会システムを大きく変えていく。そうした時代を生きる上で、「自ら問いを立てる力」「他者とともに価値を創り出す力」が求められる

### 論点3 目指す姿と理念

何をを目指すのか、  
どう考えるか

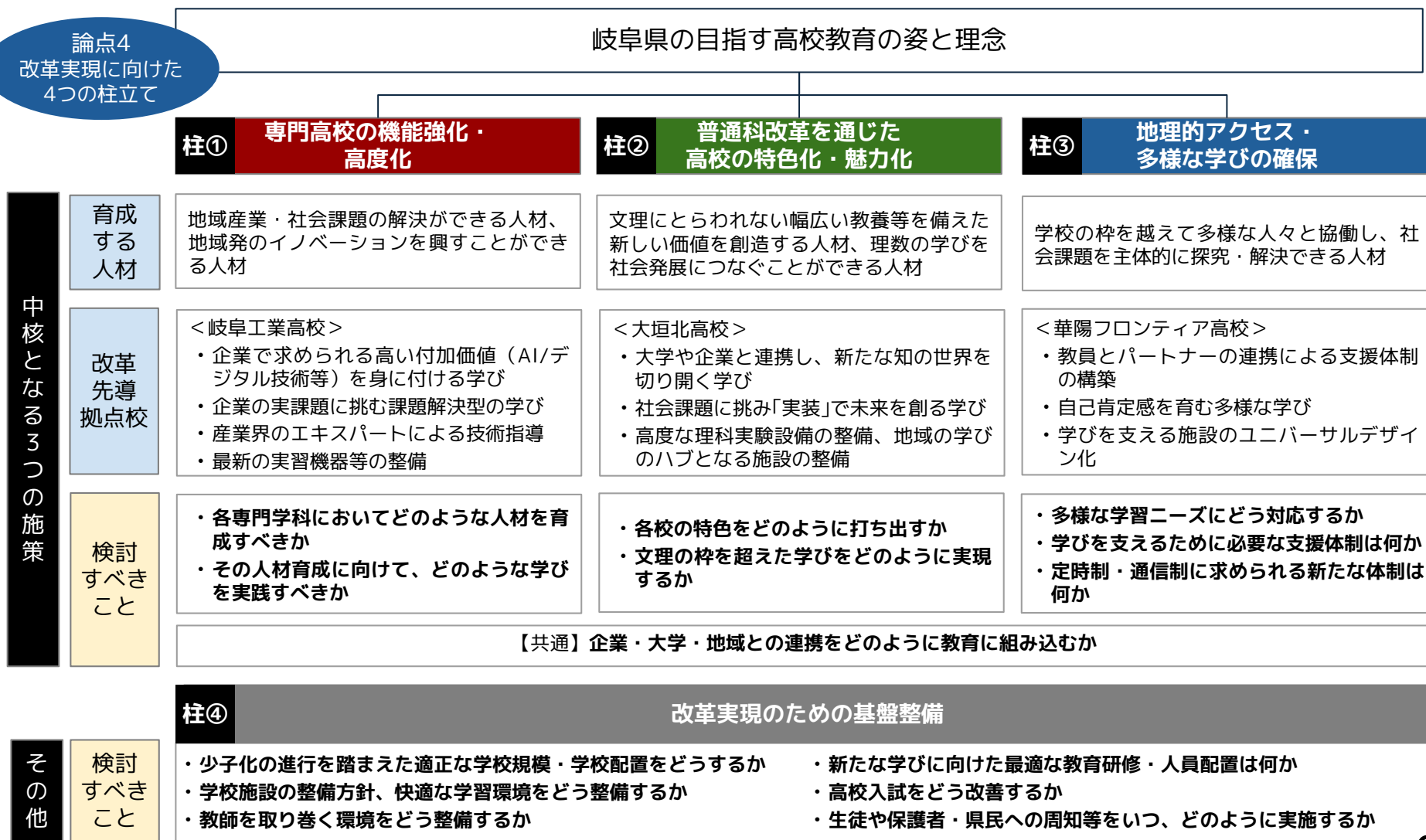
- 2040年に向けて、生徒一人一人の可能性や個性を最大限に伸ばす高校教育を実現する。その中核にあるのは、学び続ける力を育むための「学ぶ楽しさと喜び」である
- そのために、実社会とつながる学び、好奇心を満たす探究的な学び、自ら必要と感じる学びなど、一人一人の成長を支える学びを充実させる
- 「学ぶ楽しさと喜びを原動力に、一人一人が自らの未来を切り拓き、生涯にわたって学び続ける力を育む高校教育」への転換を図る**

# 4 (5) | 改革実現に向けた4つの柱と検討すべきこと

論点4  
改革実現に向けた  
4つの柱

4つの柱  
(改革実現に向けた具体的施策と基盤整備)

改革実現に向けた具体的施策を検討するため、4つの柱として整理した



## 岐阜県における高校教育改革の実現に向けて

- ① 2040年に向けた岐阜県の目指す高校教育の姿と理念は、この方向性でよいか【資料7ページ】
- ② 高校教育改革の4つの柱立て、各柱での検討すべきことは、この方向性でよいか【資料8ページ】
- ③ 高校教育改革における具体的な取組として、各委員ご活躍のフィールドからの視点で何が考えられるか、ご教示いただきたい

事前の意見聴取や本日のご意見を踏まえ、実行計画案の作成につなげていきたい